

「農泊インバウンド受入促進重点地域」40 地域を選定！

～インバウンドの更なる受入促進を後押しします～

農林水産省は、農泊地域への訪日外国人旅行者(インバウンド)の更なる受入促進に向け、これまで農泊に取り組んできた地域の中から、「農泊インバウンド受入促進重点地域」の公募を行いました。1次公募で選定した28地域に加え、この度2次公募で12地域を新たに選定しました。選定した40地域への支援を通じ、農泊地域へのインバウンド誘客体制を重点的に強化していきます。

1. 趣旨

訪日外国人旅行者(以下「インバウンド」といいます。)の需要の回復を受け、ゴールデンルート(※)から農山漁村へ一歩踏み出す地方誘客と地方消費をより一層促すことが重要となっています。

農林水産省は、農山漁村滞在型旅行「農泊」に取り組む地域において、令和7年度までに年間延べ宿泊者数に占めるインバウンドの割合を、令和4年度実績の約2.5%から10%に向上させることを目標として、地域の取組を支援しています。

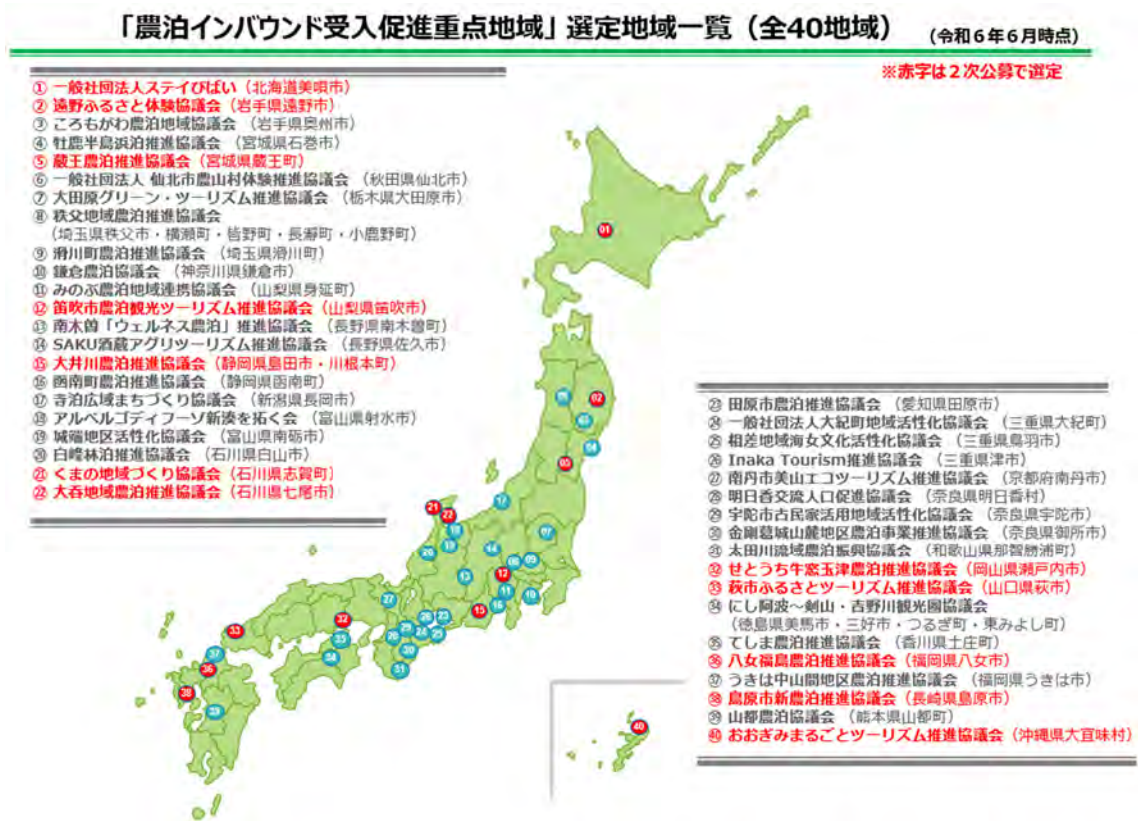
農山漁村地域へのインバウンドの受入促進に向けては、的確なターゲット設定のもと、ソフト・ハード両面での利便性向上に向けた受入環境整備と、農泊の魅力を発信する海外向けのプロモーションを行うことが必要です。それを踏まえ、農林水産省は、「農泊インバウンド受入促進重点地域」(以下「重点地域」といいます。)の公募を2月に行い、全国の農泊地域のうちインバウンドの更なる受入を目指す28地域を選定しました。今般2次公募を行い39地域からの応募があった中、新たに重点地域12地域を選定しました。

農林水産省及び関係機関が一体となって支援することを通じ、農泊地域へのインバウンド誘客体制を重点的に強化し、農山漁村地域への更なるインバウンド受入を図っていきます。

(※) 東京、富士山、京都、大阪など日本の主要観光都市を周る観光周遊ルート

2. 選定結果

令和6年4月26日から5月17日までの公募期間中に39の地域協議会から応募があり、次の12地域を選定しました。



3. 重点地域への支援の取組

選定された重点地域に対しては、関係機関とも連携し、

- ①農山漁村振興交付金（農泊推進型）による追加的な受入体制整備を支援
- ②重点地域の宿泊・食事・体験等のコンテンツを紹介する特設 web サイトやデジタルパンフレットによる情報発信、海外旅行会社等との商談会やモニターツアーの実施
- ③観光庁「地域観光新発見事業」について、重点地域を勘案した採択
- ④JNTO（日本政府観光局）による海外向けプロモーション等の支援を実施してまいります。

4. 添付資料

<添付資料>

- ・資料1：「農泊インバウンド受入促進重点地域」について
- ・資料2：「農泊インバウンド受入促進重点地域」選定地域一覧
- ・資料3：選定地域の取組のポイント（2次公募分）
- ・「農泊インバウンド受入促進重点地域」40地域を選定！」プレスリリース



農村振興局農村政策部都市農村交流課
担当者：田辺、山田
代表：03-3502-8111（内線 5451）
ダイヤルイン：03-3502-0030

農泊地域へのインバウンド受入促進に向けた課題

□ 農泊地域におけるインバウンド受入環境整備

- ・必要な知見の不足
- ・訪日外国人に対応できる人材の不足
- ・Wi-Fi設備や洋式トイレ等のハード面での整備の不足 等

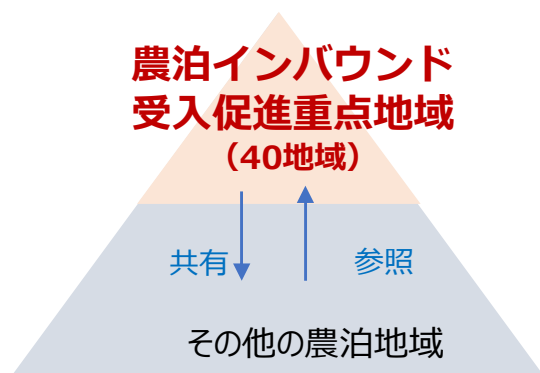
□ ターゲットに向けたプロモーション

- ・ターゲットに対応した適切な媒体・手法による宣伝ノウハウの不足
- ・在外旅行業者等とのコネクションの不足
- ・農山漁村への訪問を希望する旅行者とのマッチングの機会不足 等

農泊インバウンド受入促進重点地域の選定

- 農泊地域へ公募を行い、①協議会の運営体制、②インバウンドの受入拡大に向けた目標・計画、③提供するコンテンツ等を総合的に審査しインバウンドの受入を積極的に推進していく **40地域を「農泊インバウンド受入促進重点地域」に選定。**
- 農林水産省及び関係機関と連携して「農泊インバウンド受入促進重点地域」へ支援することを通じて農泊地域へのインバウンド誘客体制を抜本的に強化する。

農泊インバウンド受入促進重点地域への支援



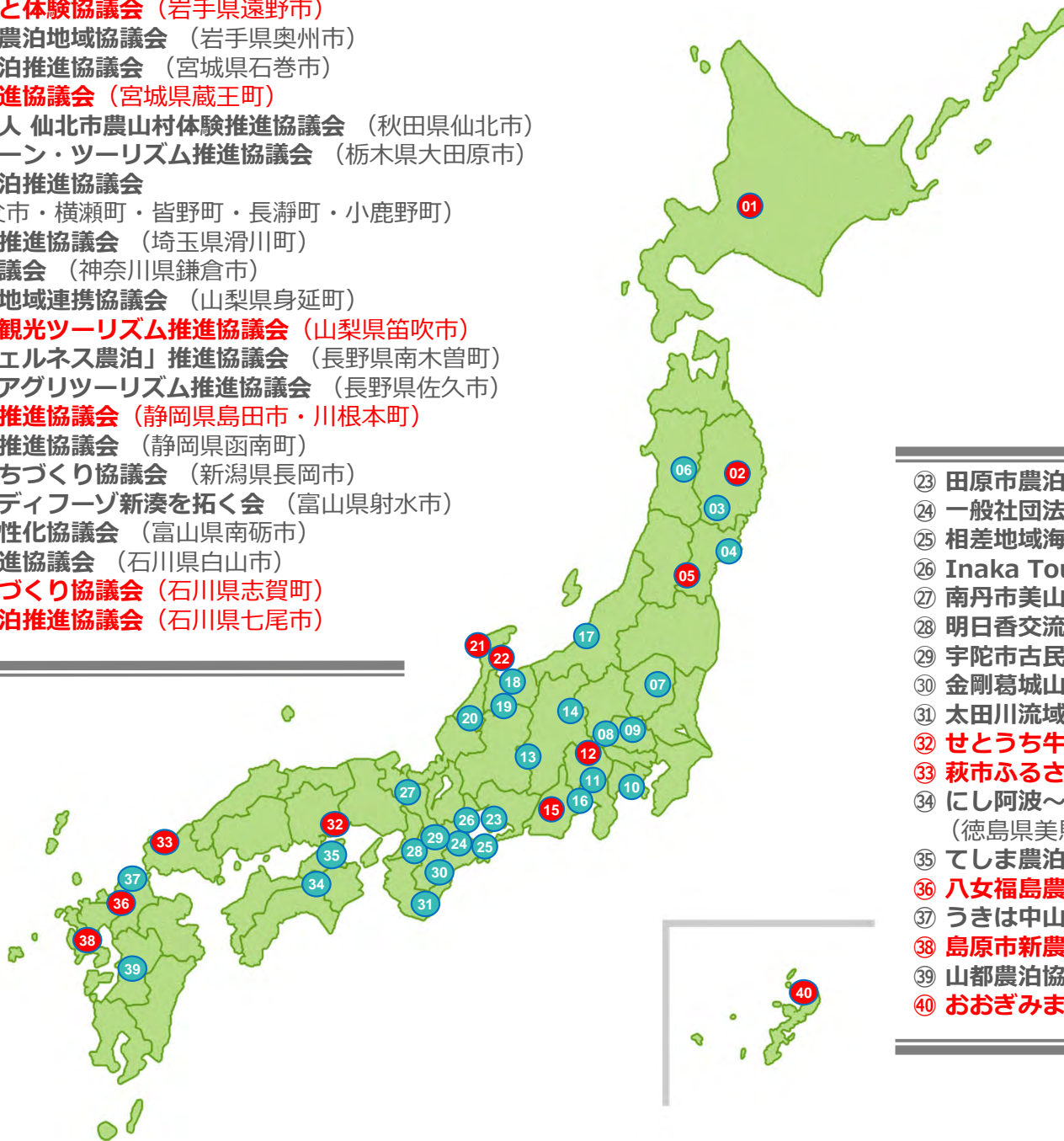
関連機関とも連携して、

- ①農山漁村振興交付金（農泊推進型）による追加的な受入体制整備を令和6年度は15地域へ支援
- ②重点地域の宿泊・食事・体験コンテンツ等を紹介する特設webサイトやデジタルパンフレットによる情報発信、海外旅行会社等との商談会やモニターツアー等による海外向けプロモーション
- ③観光庁「地域観光新発見事業」について、重点地域を勘案して採択
- ④JNTOによる海外向けプロモーション 等の支援を実施。

農山漁村地域へ更なるインバウンド受入の実現へ

※赤字は2次公募で選定

- ① 一般社団法人ステイびばい（北海道美唄市）
- ② 遠野ふるさと体験協議会（岩手県遠野市）
- ③ ころもがわ農泊地域協議会（岩手県奥州市）
- ④ 牡鹿半島浜泊推進協議会（宮城県石巻市）
- ⑤ 蔵王農泊推進協議会（宮城県蔵王町）
- ⑥ 一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会（秋田県仙北市）
- ⑦ 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会（栃木県大田原市）
- ⑧ 秩父地域農泊推進協議会
（埼玉県秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町）
- ⑨ 滑川町農泊推進協議会（埼玉県滑川町）
- ⑩ 鎌倉農泊協議会（神奈川県鎌倉市）
- ⑪ みのぶ農泊地域連携協議会（山梨県身延町）
- ⑫ 笛吹市農泊観光ツーリズム推進協議会（山梨県笛吹市）
- ⑬ 南木曽「ウェルネス農泊」推進協議会（長野県南木曽町）
- ⑭ SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会（長野県佐久市）
- ⑮ 大井川農泊推進協議会（静岡県島田市・川根本町）
- ⑯ 函南町農泊推進協議会（静岡県函南町）
- ⑰ 寺泊広域まちづくり協議会（新潟県長岡市）
- ⑱ アルベルゴディフーズ新湊を拓く会（富山県射水市）
- ⑲ 城端地区活性化協議会（富山県南砺市）
- ⑳ 白峰林泊推進協議会（石川県白山市）
- ㉑ くまの地域づくり協議会（石川県志賀町）
- ㉒ 大吞地域農泊推進協議会（石川県七尾市）



- ㉓ 田原市農泊推進協議会（愛知県田原市）
- ㉔ 一般社団法人大紀町地域活性化協議会（三重県大紀町）
- ㉕ 相差地域海女文化活性化協議会（三重県鳥羽市）
- ㉖ Inaka Tourism推進協議会（三重県津市）
- ㉗ 南丹市美山エコツーリズム推進協議会（京都府南丹市）
- ㉘ 明日香交流人口促進協議会（奈良県明日香村）
- ㉙ 宇陀市古民家活用地域活性化協議会（奈良県宇陀市）
- ㉚ 金剛葛城山麓地区農泊事業推進協議会（奈良県御所市）
- ㉛ 太田川流域農泊振興協議会（和歌山県那智勝浦町）
- ㉜ せとうち牛窓玉津農泊推進協議会（岡山県瀬戸内市）
- ㉝ 萩市ふるさとツーリズム推進協議会（山口県萩市）
- ㉞ にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会
（徳島県美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）
- ㉟ てしま農泊推進協議会（香川県土庄町）
- ㊱ 八女福島農泊推進協議会（福岡県八女市）
- ㊲ うきは中山間地区農泊推進協議会（福岡県うきは市）
- ㊳ 島原市新農泊推進協議会（長崎県島原市）
- ㊴ 山都農泊協議会（熊本県山都町）
- ㊵ おおぎみまるとツーリズム推進協議会（沖縄県大宜味村）

資料3

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント(2次公募)

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
1	本省	北海道	美唄市	一般社団法人ステイびばい	<ul style="list-style-type: none"> 日本最大級のスノーアクティビティが楽しめる美唄スノーランド 安田侃彫刻美術館、アルテピアッツァ美唄を中心としたアート空間 日本でも有数の食品サンプルづくりが出来る体験館 美唄のソウルフード、美唄やき鳥、美唄とりめし 	美唄スノーランドはゴルフ場の冬期利用で、積雪の多い当地ならではの活用方法。タイや台湾、アジア圏の個人客をターゲットに旅行博出展や商談会に参加しておりインバウンド受入に積極的に取組んでいる。
2	東北	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会	<ul style="list-style-type: none"> 「民話のふるさと遠野」 カッパをはじめとする民話や神楽等の郷土芸能 遠野産ホップのクラフトビールやジンギスカン、伝統料理 	花巻空港から台湾の直行便があり、航空会社や花巻温泉郷との連携など広域での取組が計画されている。提携している農家民宿や農家レストラン、体験提供者は、農業従事者が多く、農泊での売り上げが所得向上に直結している。
3	東北	宮城県	蔵王町	蔵王農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 春季は雪壁ウォーク、夏はお釜見学、秋は紅葉、冬季は樹氷ツアー キツネと触れ合える「キツネ村」 陶芸、染物、こけしの絵付けやチーズ作りなどの地域文化 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を活用した戸建型宿泊施設を目標年次までに100軒まで増やし、AD認証の強みを活かす取組としている。 ハラールやベジタリアンへの食事にも配慮しており評価できる。
4	関東	山梨県	笛吹市	笛吹市農泊観光ツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 世界農業遺産に認定された日本一の桃葡萄ワイン造り 縄文遺跡の出土が多い、縄文文化や古墳文化の遺跡 地域の高齢者による食体験プログラム 地域の伝統行事である「おみゆきまつり」 	富士河口湖にインバウンドが集中しているなか、当該地域に訪れてもらう仕掛けづくり(世界農業遺産を紹介する体験ツアーやワイン造り体験など)が計画されている。既存のHPや予約フォームを多言語対応にするとともに地域通訳案内士と連携したプログラムを整備することとしている。
5	関東	静岡県	島田市川根本町	大井川農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 大井川流域に多数の製茶工場、特色ある茶の生産 山間地茶園・牧之原大茶園の美しい茶園景観 大井川の水で多彩な農産物、駿河湾ではサクラエビ等の水産物 	広範な農泊地域を有することから、東海道ガストロノミーツアーや駿河湾ガストロノミーツアーなど4つのテーマで地域資源を活かしたガストロノミーツアーなど具体的に提案されている。
6	北陸	石川県	志賀町	くまの地域づくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> 薬草栽培の祖である村松兵衛門、薬草を取り入れた生活文化 野草と発酵が生かされた健康的な食事 千里浜や名勝巖門サイクリング、農村文化と地域住民との交流 	目標設定に能登信用金庫の経営アドバイスを受けており根拠が明確である。アジア圏と欧米からの個人客をターゲットとし「里山+古民家へ能登の文化」を打ち出すことが計画されている。
7	北陸	石川県	七尾市	大呑地域農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 寒鰯、水見鰯で有名な鰯の産地 鰯を使用した巻鰯という特産品や朝とれ魚を飲食店で提供 「能登の里山里海」は世界農業遺産に認定 	能登の里山里海など豊かな地域資源を活かすことはResponsible Travellerとの親和性が高い。里地里海の保全や景観保持、農業・漁業の生業継続に繋がる仕組みづくりがインバウンドにも評価されると考えられる。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント(2次公募)

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
8	中四	岡山県	瀬戸内市	せとうち牛窓玉津農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・備前長船刀剣博物館にて、英国人学芸員による館内解説ツアー ・日本刀古式鍛錬の様子や現代刀の職人が常駐する工房 ・「刀剣の里」に隣接する足利尊氏の伝説や「靱負神社」 	<p>宿泊施設は海外OTAに登録されており、宿泊・食事・体験において英語やフランス語での対応が可能。 地域特有資源をのインバウンド向け体験として提供している。</p>
9	中四	山口県	萩市	萩市ふるさとツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁村や城下町で萩古来の暮らし体験 ・瓦そばや押し寿司といったホームメイドな郷土料理を囲んで交流 ・着付けや神楽、学校訪問など、オリジナルの体験コンテンツ 	<p>インバウンド率の実績・比率とも高く、欧米豪諸国のグループから個人客の受入を行っている。 ホームステイ型の宿泊で自家栽培の農産物や地元食材の提供しており、農泊に関わる農林漁家の所得向上に繋がる取組となっている。</p>
10	九州	福岡県	八女市	八女福島農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・八女茶および古民家での宿泊、客室内での八女茶や朝食体験 ・久留米餅や八女提灯、和紙等の伝統工芸 ・宿のスタッフをはじめ八女住民との交流 	<p>Creft inn te が実施するアートツーリズム(手仕事を巡るツアー)が好調でアメリカ、イギリスのエージェントから定期的な送客を見込むことができる。 古民家の宿泊施設や八女茶の活用など農山漁村ならではの地域資源を活かしている。</p>
11	九州	長崎県	島原市	島原市新農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・キリシタンの歴史資源、自然資源、食の資源、豊かな人材資源 ・古き日本の良き姿や「ありのまま」の日本文化や日本食 ・城下町の武家屋敷、古民家利用カフェ・レストランや宿 ・海山川でアウトドア体験や雲山温泉 	<p>キリシタンの歴史などの地域特有の売りがある。 課題を浮き彫りにし、各課題に対する対応策がしっかり検されている。宿泊単価は利用形態に応じ日帰りから長期滞在型まで幅広い価格帯を設定し、長期滞在を促す取組が計画されている。</p>
12	沖縄	沖縄県	大宜味村	おおぎみまるとツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーゾーン(世界五大長寿地域)である ・村の長寿の秘訣が総発行部数500万部を超えるベストセラー ・住民との交流や農業などから長寿の秘訣を体感 ・生活スタイルを体験できる「民泊・長寿コンテンツ商品」 	<p>ブルーゾーン(世界五大長寿地域)として着目される大宜味村として、「長寿」を売りに他地域と差別化を図りながらインバウンドの受け入れを推進する取組が計画されている。</p>